津房地区公民館便り

編集・発行
津房地区公民館
☎48-2001

宇佐市生涯学習作品展が開催されました

先月号でご案内しました宇佐市生涯学習展が５、６日に開催されました。津房地区公民館からは油絵教室の皆さんの作品が出展されました。

永田知徳先生
『不知渓谷の秋』

元永淳一さん
『千曲川』

吉田マスミさん
『岳切渓谷の秋』

安部多恵子さん
『雪の里』

安部ちえみさん
『ふるさとの春』

大坪ちよ子さん
『バラ』

江藤汐一郎さん
『湖畔の街』

津房の画伯達を
記念に一枚

永田先生に不知渓谷ってどこですか、と尋ねてみたら、そんな場所はなく空想の景色、と。さすが永田先生です！

頂いた河津桜

春が
来た！！

別名：夢見草
花言葉：精神の美、
優美な女性

菜の花会の食育料理教室

16 日にヘルスメイトの『菜の花会』の皆さんによる食育料理教室が行われ、ヘルシーなカロリーオフ料理を勉強していました。

【メニュー】
・なめたけ大根ごはん
・ごぼう入り麻婆豆腐
・糸寒天の新食感ナムル
・レタス入りわかめスープ
・豆花（トウファ）

本日の料理の一部が載っているカロリーオフレシピ集を何部か頂いています。
ご興味がある方は公民館まで

感心した話

令和 3 年度大分県の人権標語優秀作品が発表され、個人的にほぉーと思ったものが…

「これが普通」
誰かにとって
「それが苦痛」

国東市の女子高生の句です。
100 人いれば 100 の数もの個性があり、ひとりひとり違ったモノを持っています。つい自分の常識を他の人に押し付けていませんか。その言葉で傷つく人もいるかもしれません。相手を思いやって物事を話す事の大切さ、そんなことをあらためて女子高生に教えてもらった気持ちになりました。

津房句会

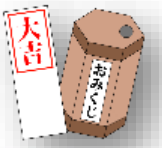
大隈草生　選

一月例会
一月二十九日（土）

兼題（初詣・雪・マスク）

福みくじ当りの太鼓初詣　一圭

（評）各地の神社は初詣参拝の人の多数を願って種々と趣向を凝らす福みくじもその一つ。当り籤の度に景気よく大太鼓を打ち鳴らし新年のめでたさ、よろこびを盛り上げる。今年も良い年になりそう。



季寄せ手に日がな一日外は雪　義彦

一人居のテレビを友に牡丹雪　聖枝

雪の上赤い実散らし鴨二羽　洋子

町内の三社巡りや初詣　茂

ハミングは「雪の降る町を」雪しんしん　草生

今月の相原さんの作品

手づくりのお雛様

貝殻のお雛様と折り紙のお雛様

春の息吹

地域の方々から頂いた植木がいきいきしてきました。11月に津房っ子のみんなからもらったお花もきれいに咲いています。

小野さんの 津房の昔話

11.名棟梁・松田新之助の丸田橋

むかし、丸田集落は村々や人をつなぐ橋がなく難儀をしていた。昭和９年石橋の名棟梁・松田新之助による丸田橋が架けられた。

現在院内・安心院には100基近くの石橋が残っているが、記念碑があるのは4ヶ所。そのうちの一つが丸田橋。記念碑に刻まれた文字から見えるのは、

“総工費2200円、架橋請負人　院内村松田新之助、
村補助金150円（総工費の7%）”

14戸の小集落には大きな負担であったが、寄附金もお願いして悲願が達成した。その喜びが大きな架橋記念碑を建立したのだろう。

当時松田新之助は68歳で、丸田橋は最後の架橋となり有終の美を飾った。採算度外視の架橋であった。（架橋費は今のお金にして236万円。平成6年に完成した隣の鉄橋は約1億円）

深い谷、青々とした淵に映えるもみじが美しい。津房小学校の教育の場でもある。

松田新之助の最後の石橋・丸田橋。二連アーチが美しい。近くに芝桜や紫陽花など四季折々の花も楽しめるようです。今回は彼岸桜がきれいに咲いていました。（3/15 撮影）

今後の予定

3月30日（水）10:00～	津房遺族会役員会

8日に小学校の4・5年生が地球未来科の授業で丸田橋について発表していました。丸田橋を観光スポットとして盛り上げるアイデアを発案していました。みんなのアイデアはとても興味深く、津房っ子は目のつけどころが違う、さすが！